

令和3年度  
秩父市社会福祉事業団事業計画

社会福祉法人 秩父市社会福祉事業団

# 令和3年度 社会福祉法人 秩父市社会福祉事業団 事業計画

## はじめに

秩父市社会福祉事業団は、複合型老人福祉施設「ほのぼのマイタウン」の運営を行なうため平成10年に設立されました。平成12年から同施設の運営を開始し、今年で21年になります。同年介護保険法が施行され、多くの事業が老人福祉法から介護保険法に移行し、その後も秩父市で設置したデイサービスセンターなどの運営も受託し、高齢者福祉・介護の専門組織として成長してまいりました。

事業団では、近年既存事業の体制を利用して障害者の受け入れを行なうとともに、5年前に障害者相談事業所を開設、3年前から放課後デイサービス事業を開始しました。

昨年8月からは、障害児、障害者、高齢者の福祉を同一の施設内で行なう多機能型福祉施設「にじいろテラス」を開設しました。

## 今年度の取り組み

行政においては、障害者の高齢化に対応するため、介護保険と障害者福祉制度に加え、共生型サービスを進めています。当事業団ではこの共生型サービスを実践する施設として「にじいろテラス」の事業の充実に努めるとともに、秩父地域における障害者福祉事業のニーズを精査し、新たな事業についても検討を進めます。

具体的な取り組みとして、児童発達支援事業と放課後デイサービスのリンクによる機能強化と事業の効率化。生活介護事業所のふあいんユニーでは、関係機関との調整により軽度の利用者から医療ケアを伴う重度の利用者まで、色々な症状に対応できる施設として、事業の充実を図ります。

高齢者のデイサービスを併設しているため、新型コロナウイルスの状況に注意しながら事業所間の交流を図り、共生型サービスを進めていきます。

また、事業団全体の安定した経営を将来にわたって確保するため、既存事業の充実・効率化を進め、利用者に喜んで頂けるための事業を展開してまいります。

## 【総務課】

事業計画	主な事業内容
事業の発展、充実、拡大に努めます。	<p>2年目を迎えるにじいろテラスについては、適正な予算編成と執行により安定した運営に努められるよう各事業所と連携を図ります。駐車場の追加整備においても用地取得に関わる手続きから工事まで計画通り進められるよう取り組みます。</p> <p>秩父市の指定管理施設(偕楽苑・長寿荘・高篠デイ・上吉田デイ・吉祥苑)は、指定5箇年の2年目となりますが、引き続き、運営状況の確認、評価を適切に行い、質の高いサービスの提供に努めます。</p> <p>防災マニュアルに基づき、災害時の備えを行い、必要な業務が継続できるよう危機管理体制の向上を図ります。また、利用者、職員の安全を守る防犯体制を確立します。</p> <p>事業団の事業をより多くの方に知っていただくよう、広報誌、ホームページやパンフレットを利用して様々な情報を発信します。</p>
地域共生社会の実現に向け、地域貢献活動を積極的に行います。	<p>高齢者や障がい者の特性理解を深めるために、今までに培った経験や専門的知識を地域へ発信します。</p> <p>地元町内会や民生委員と連携し、地域の状況を把握しながら見守り活動を進めます。</p> <p>生活困窮世帯等、複合的な課題を抱える世帯の相談に応じ、地域での生活を支えます。</p> <p>地域との連携を強化し、町内会活動の参加や交流を積極的に行います。</p> <p>災害時には福祉避難所としての機能を発揮できるよう、秩父市や近隣施設等と協力を図ります。</p>
事務手続きを適正に行い、透明性のある経営を行います。	<p>にじいろテラスに係る駐車場用地の整備を行うため、資金計画、積立金の活用等、適切な処理を行います。</p> <p>新型コロナウイルス対策として、必要物品等の検討、適性価格での購入により、緊急時に対応できるよう整備します。</p> <p>法人全体の経費削減に向けて、定期的に予算の執行状況の確認、報告、提案を行います。</p> <p>各種助成金の活用を積極的に行い、事業運営の安定に努めます。</p>
職員の採用、定着を図り、人材育成に努めます。	<p>コロナ禍においても各種学校・ハローワークとの連携、就職説明会等の参加を通し、介護職、保育士等の採用につながるよう努めます。</p> <p>各事業所の人員配置を見直し、事業運営が円滑に行えるよう職員体制を整えます。</p> <p>働き方改革関連法の改正に伴ない、職員が安心して働くことのできる職場環境づくりを推進します。</p> <p>個々の専門性を向上させるため、職員の資格取得に対する支援を行います。</p>
建物及び設備等の適正な管理、見直しを行います。	<p>省エネに対する取り組みを推進し、環境面に配慮した設備の選定を行います。</p> <p>老朽化している設備に関して、修繕及び機器更新を計画的に行います。また、浄化槽、ナースコール、中央監視装置、厨房設備等、施設に関する大規模改修工事については、秩父市と協議を重ね補助金や積立金の活用を検討します。</p>

【秩父市特別養護老人ホーム借楽苑】  
 【秩父市特別養護老人ホーム借楽苑 短期入所】

事業計画	主な事業内容
一人ひとり誰もが生きがいを感じ、笑顔あふれる暮らしの場を利用者と共に創造します。	利用者自治会（なかよし会）において、生活の希望や生活課題への意見を受け止め、利用者の思いに添った暮らしを実現します。
	新型コロナウイルス等の感染症対策を徹底しつつ、苑内でも楽しめる行事やレクリエーションを工夫し、個人の趣味活動等にも取り組みながら、利用者の生きがいづくりを行います。
	利用者一人ひとりの特技を活かしての活動や、利用者の支え合い等を支援し、主体的な暮らしの場を実現します。
個人史や人と人との繋がりを尊び、ご家族や地域との関係を大切にすることで、地域社会の一員としての暮らしを実現します。	広報誌の発行、フェイスブックの活用、日々の暮らしの写真の掲示等により、施設での暮らしを発信することで、ご家族や地域の方にとって施設が身近なものとなるよう取り組みます。
	ほのぼの祭りやほのぼの感謝祭、食事会など様々な行事にご家族に参加いただき、家族関係を深めると共に、ご家族の協力のもと施設生活の充実に取り組みます。
	利用者、またその家族の希望に寄り添い、新型コロナウイルス等の感染防止に配慮しながら、外出・外泊の支援や地域行事への参加等を行うことで、新たな出会いや地域との繋がりが得られるよう取り組みます。
生活困難者等への支援において、迅速かつ適切に対応することで施設機能を最大限、地域に還元します。	秩父市をはじめとした行政機関や包括支援センター等との連携を密接に持ち、虐待等の緊急ケースに迅速に対応します。
	重度認知症者や医療ニーズのあるケースについても積極的に受け入れます。
	特養入所利用率96%以上、短期入所利用率95%以上を実現します。
専門機関、専門職としての誇りを持ち、組織として研鑽を積み、謙虚に実践の向上に努めます。	職員間の意見交換を活発に行うことで、一人ひとりの思いを実践の中に活かし、各人のやりがいを高揚し、組織として研鑽を深めます。
	認知症の専門研修、人権擁護、事故防止、感染症に関する研修等を行うことで、知識の共有と深化をはかり、職員の資質向上に取り組みます。また、介護福祉士、ケアマネージャー等資格取得に向けての気運を醸成し支援します。
	嘱託医との連携を適切に行います。また、日々の健康観察を行い、その情報を共有しケアを実践することで健康増進に努めます。
	定期的な歯科往診と歯科衛生士の指導・助言に基づき、口腔ケアに取り組むことで健康づくりにつなげます。
	新型コロナウイルス等の感染症予防の観点から、施設内の定期的な消毒、マスクの着用や手指消毒の励行、感染症予防対策に関する研修等に取り組むことで、安心感を持って生活できる施設づくりに取り組み、心地よく生活できる環境を実現します。
	食べることの喜びが感じられるよう、ゆったりとした食事場面をつくります。また、一人ひとりの嗜好や食事摂取状況にあった食事提供を行い、食生活の充実に努めます。

グループでのゆったりとした入浴場面の提供や個別性を重視した快適な排泄環境を整えることで、安楽な生活が送れるよう取り組みます。

他職種連携のもと個別機能訓練計画に基づいたリハビリを実践することで、身体機能を維持し、安全に可能な限り自立した生活が送れるよう取り組みます。

## 【秩父市立養護老人ホーム長寿荘】

事業計画	主な事業内容
<p>利用者の自主的な生活が営めるよう自己決定を尊重し、自立支援に向けた取り組みを行います。また、ご家族や地域との繋がりを大切に、地域社会の一員としての暮らしを実現します。</p>	<p>利用者の思いやそのおかれた状況を鑑みて、明るく家庭的な雰囲気施設の施設生活を通して、その人らしい生活の実現に努めます。</p>
	<p>自治会議の開催を通じ、利用者の声に耳を傾けることで、その声を行事やレクリエーション、外出、趣味活動等に反映し、社会参加に取り組みます。</p>
	<p>フェイスブックや広報誌を通じ、ご家族との繋がりが深まるよう努めます。</p>
	<p>新型コロナウイルス等への対策として、生活品の購入や食事は地元商店の訪問やカタログ販売、配達弁当などを活用し、外出を控えながらも楽しみを持てるよう支援します。</p>
	<p>地元町内の地域活動への参加を維持し、利用者が地域の一員として生きがいを持てるよう支援するとともに、地域貢献事業の発展に努めます。</p>
	<p>利用者の施設内作業を促進し、働くことの喜びと共同生活の喜びを感じることできるよう支援します。</p>
<p>専門機関・専門職として、研鑽を積み、改善改革に取り組み、質の高いサービスを提供します。</p>	<p>職員間、職種間の情報共有と意見交換により、その人らしさを尊重した支援をチームで実践することで、質の高いケアの実現に努めます。</p>
	<p>小さな体調変化をしっかりと観察し、嘱託医を中心とした医療機関との連携を深めることで、利用者の皆様がいつまでも元気に過ごせるよう、健康管理に努めます。</p>
	<p>身体状況の把握、生活環境の整備、事故防止策の分析などに取り組み、安心で安全な生活の場を構築します。</p>
	<p>要介護者が必要なサービスを利用できるよう関係機関と協力し、住み慣れた施設での生活が維持できるよう支援します。</p>
	<p>退所後も安心して生活を送るため、身体状況に応じたサービスを受けられるよう、関係機関と連携を図ります。</p>
	<p>会議や研修等を通じて新型コロナウイルスへの理解を深めると共に、他事業所とも協力しながら感染防止対策に努めます。</p>
<p>全職員で現状課題を把握し、健全な施設運営を図ります。</p>	<p>入所利用率98%を目標とし、安定した運営を図ります。</p>
	<p>諸経費のコスト削減に努め、適切な事業運営を図ります。</p>
	<p>秩父市をはじめ、入所措置機関と円滑かつ速やかな連携に努め、経済的および環境的な理由による生活困窮者等に対する社会資源として地域社会に貢献します。</p>

## 【蒔田デイサービスセンター】

事業計画	主な事業内容
<p>地域と共に歩むデイサービスを目指し、利用者が、住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせるよう支援します。</p>	<p>利用者が可能な限り、自宅で自立した生活が送れるよう、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関、家族等と密に連携し、支え合いながら支援していきます。</p>
	<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、利用者とその家族が安心して生活できるよう、安全で安定したサービスを提供し、事業の維持発展に努めます。</p>
	<p>広報誌・フェイスブック等で広く活動内容を情報発信し、開かれたデイサービスを目指します。</p>
	<p>外出行事等の社会参加を通じ、生活リハビリを実施することで身体機能、生活機能の維持向上を図ります。</p>
<p>利用者のニーズを把握すると共に、職員の専門的知識・技術を深め、専門職としての誇りを持ち、質の高い福祉サービスの提供を目指します。</p>	<p>毎月のミーティングや毎日の申し送りの中で、利用者の情報共有やニーズを確認し合い、利用者一人ひとりに寄り添った支援を行います。</p>
	<p>外部・内部研修へ積極的に参加し、多職種との交流を深め、専門的な知識や技術の習得に努めます。</p>
	<p>風通しの良い職場環境の整備に努め、自己啓発しやすい体制作りの中で、職員のメンタルヘルスの維持を図ります。</p>
	<p>介護保険制度改正に伴い、最新の制度内容を把握し理解を深め、より専門職としての資質向上に努めます。</p>
<p>職員全体で、現状の把握や課題分析をし、健全で安定した施設運営を行います。</p>	<p>事業所の稼働状況を把握し、利用率の向上（目標80%）を目指し、適正な収入確保に努めます。</p>
	<p>理学療法士による専門的リハビリの実施と、充実した看護体制により、医療ニーズの高い方や重度の方など困難ケース等にも柔軟かつ迅速な対応をし、積極的受入れを行います。</p>
	<p>業務の効率化を図るため、マニュアルを整備し、職員一人ひとりがコスト意識を持ち、環境にも配慮した運営を目指します。</p>
	<p>施設設備の点検整備を行い、事故防止に努め、安定した施設運営に取り組みます。</p>

## 【秩父市ヘルパーステーション】

事業計画	主な事業内容
在宅での生活を継続できるよう利用者の自立度や障がい特性に合わせたサービスが提供できるよう、職員の資質向上を図ります。	医療・福祉・介護等に関する情報を収集し、サービス提供の資質を向上します。ZOOM等を活用した外部研修にも参加し、職員のスキルアップを図ります。
	月1回のミーティングを開催し、利用者の情報共有、支援内容の確認、事例検討・職員研修の実施、報告・連絡・相談の場とします。
	介護福祉士等の国家資格や障がい者支援に関連する資格取得をサポートし、事業団の専門機能を高めます。
利用者及び利用者家族や地域との連携を深め、地域に根付いた事業所を目指します。	関係機関との情報交換等を行い、連携を強化することで、発生する課題に対し迅速な対応を行います。
	利用者及び家族に対し支援内容を解りやすく丁寧に説明し、意向や希望を尊重した支援を行います。
	利用者・家族等へ様々な情報を発信できるよう、自宅訪問の際に適切な情報提供と、必要に応じてケアマネージャーや関係機関の情報提供を行います。
	支障なくサービス提供が行えるよう、コロナ感染症等の感染症予防に努めます。
高齢者及び障がい者の積極的な利用受け入れを行い、安定した事業所の運営を行います。	支援困難・緊急なケースを積極的に受け入れるため、責任者を4名配置しスムーズにサービス提供が行えるよう努めます。
	法改正及び介護報酬に係る事務作業や職員及び利用者への周知を正確に行い、円滑に運営出来るよう努めます
	訪問者数の増加（目標135名）を図ります。

## 【秩父市高篠デイサービスセンター】

事業計画	主な事業内容
利用者一人ひとりが、それぞれの持てる力を活かしながら、住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせるよう支援します。	<p>利用者が住み慣れた環境の中で生活が続けられるよう、地域、医療、介護といった他職種連携・協働による「チームケア」で支援します。</p> <p>利用者が持つ豊かな経験と知識、技能を活かせるような環境を整備します。</p> <p>利用者の身体状況だけでなく、関わる個別の環境にも対応しながら支援していきます。</p>
多様化する利用者ニーズに応えられるよう、福祉サービスの提供体制の充実を図り事業を展開していきます。	<p>困難ケースの積極的な受け入れや多様化する個別ニーズの柔軟な受け入れに努めます。</p> <p>フォーマルなサービスだけでなく地域資源も活用し、利用者一人ひとりに合ったサービス提供を行います。</p> <p>上質なサービスを安定的に供給するため、可能な部分での支出削減、収入の確保に努めます。</p>
人材育成に努め、利用者のニーズを把握するとともに、質の高い福祉サービスの提供を目指します。	<p>職員の資質の向上に資するため、年間計画に基づいて職員対象の研修をコロナ禍に合わせた形で積極的に行います。</p> <p>職員それぞれの立場にあったスキルアップ・モラルアップ・モチベーションアップを図り、チームによる質の高い福祉サービスの提供を目指します。</p> <p>OJT・OFF-JT、自己啓発等のしやすい体制づくり、資格取得に向けた支援体制の充実に努めます。</p> <p>令和3年4月より改正される介護保険に対する知識を深める事で円滑なサービスの提供が出来るよう努めます。</p> <p>新型コロナウイルス対策として、利用者が安心して施設を利用できるよう施設内、送迎車の消毒。また、職員は新型コロナウイルスの正しい知識を身に付け受け入れを行っていきます。</p>
地域に広く開かれた高齢者福祉施設として、積極的に地域と交流を深める機会を設けます。	<p>地域特性を活かしつつ、コロナ禍に合わせた形で学校や学生ならびに地域ボランティアの受け入れを行います。</p> <p>地域住民から寄せられる介護相談等に積極的に対応し、在宅支援の役割を担います。</p> <p>広報誌・ホームページ等で広く活動内容を情報発信します。</p>
高篠福祉交流センターの適切な設備管理を行います。	施設の老朽化による破損や経年劣化している設備や備品を適切に管理し、利用者が安心して過ごせる空間を提供します。

## 【秩父市上吉田デイサービスセンター】

事業計画	主な事業内容
<p>共通の課題認識を持ち、全職員で施設運営に参画します。</p>	<p>日々の光熱水費の使用状況を把握し、節電・節水に努めます。必要物品について検討し諸経費等のコスト削減を図ります。</p>
	<p>社会情勢の変化に伴う介護保険制度の変遷を踏まえ、制度の理解と正しい運用を行います。</p>
	<p>利用率を保持し、事業運営の安定に努めます。定員拡充を含めた中長期的ビジョンを策定します。</p>
<p>職員の資質とサービスの質の向上を図ります。</p>	<p>職員の資質向上に資する各種研修を実施するとともに、研修の質的向上を図ります。</p>
	<p>月1回ミーティング内で事業所の課題を検討・共有し、事業所全体のサービスの質を高めます。</p>
<p>地域密着型通所介護施設として、地域との連携を図ります。</p>	<p>年2回の運営推進会議を行い、地域の介護福祉ニーズを発掘します。</p>
	<p>広報誌やホームページ(facebook)を活用し、積極的な広報活動を行います。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策など、広範に影響を及ぼす事項への対策を講じるとともに、個別の課題を職員間で共有し、安全・安心なサービスを提供します。</p>	<p>感染症対策マニュアル、各種指導に基づき、新型コロナウイルス、季節性胃腸炎、インフルエンザなどの各種感染症に対応します。</p>
	<p>デイミーティング時にケースカンファレンスを行い、利用者一人ひとりの課題を検討し、対応を共有します。</p>

## 【秩父市立上吉田高齢者生活支援ハウス 吉祥苑】

事業計画	主な事業内容
<p>高齢者生活支援ハウスの地域における役割を理解し、地域福祉の発展と向上に貢献します。</p>	<p>秩父市（吉田・荒川大滝含む）包括支援センター、居宅介護支援事業所などの関係機関と連携し、入居等の相談、緊急入居事例等に速やかに対応します。</p>
	<p>とくし丸、松本商店等の移動商店での買い物を支援します。</p>
	<p>新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、地域と連携し、地域行事や各種活動を行います。福祉施設としての知見や資産を地域のために活用します。</p>
<p>職員1人ひとりの相談援助技術の向上を図り、質の高い福祉サービスを提供します。</p>	<p>職員研修・勉強会などを実施し、入居者の高齢化・重度化に応じた適切な生活支援のための知識と技術の向上を図ります。</p>
	<p>物品の購入や施設整備の保守・修繕について適正な管理を行います。職員による日常的な保守点検および修繕を実施します。</p>
	<p>ひだまり会（入居者自治会）を定期的実施します。個別の相談に対し、面接や日常の聞き取りを行い、入居者のニーズをくみ上げます。</p>
<p>「一日でも長く地元地域で暮らしたい」という要望を実現するため、安心・安全な生活を送れるよう支援します。</p>	<p>市民福祉課、包括支援センター、警察署等の関係機関と連携し、入居者の消費活動を守り、日常生活の安心感を高めます。</p>
	<p>上吉田医院、倉林歯科クリニックによる内科・歯科往診を実施します。必要に応じ、各科の受診を支援します。早朝・夜間帯の職員不在時の緊急事例に対し、関係者間で連携し迅速に対応します。</p>
	<p>感染症対策マニュアル、各種指導に基づき、新型コロナウイルス、季節性胃腸炎、インフルエンザなどの各種感染症に対応します。</p>
	<p>消防・災害・防犯に関する訓練や研修を実施し、防犯意識や安全に対する意識を高め、施設の安全性を向上します。</p>

## 【秩父市社会福祉事業団 居宅介護支援事業所】

事業計画	主な事業内容
<p>市町村・包括支援センター及び医療機関との連携を全職員で深め、積極的に新規利用者の受入れを行います。また、市町村からの委託業務等も継続的に行います。</p>	<p>困難ケースや緊急ケースの受け入れを積極的に行い、各個人がその人らしい生活が送れるように支援します。</p> <p>年間を通して月245件以上の支援者数を維持します。</p> <p>介護保険委託業務の認定調査を受託します。</p> <p>『介護予防・日常生活支援総合事業』の委託を積極的に行います。</p> <p>認定審査会への出席を継続して行います。</p> <p>市町村及び各包括支援センター、医療機関や介護保険事業所との情報交換を行い更なる連携強化を図ります。</p>
<p>各介護支援専門員が専門的な知識を深め、ケースワークの技術を更に高めます。個人のケースについて情報を共有し、チームでの支援を実践していきます。また令和3年度法改正や新型コロナウイルス対策に伴った情報の共有を図り、対応に努めます。</p>	<p>地域サービスや新規事業所、インフォーマルサービスの把握を行うことで、ケースワークの質を高めます。</p> <p>介護支援専門員更新研修、県・市町村・各事業所の主催する研修へ積極的に参加し、専門的知識の向上に努めます。また内部会議を通して法改正の把握や研修を実施し、知識の向上に努めます。</p> <p>「特定事業所加算Ⅱ」の算定を継続できるよう、算定要件を理解し、体制・支援内容等を維持していきます。</p> <p>計画的な研修を介護支援専門員へ向けて実施します。</p> <p>他居宅介護支援事業所と連携し事例検討会を開催することで、マネジメント力を高めます。また新型コロナウイルス対策としてZoom等を活用し、定期的な情報交換や交流機会を作ります。</p>
<p>包括的ケアシステムや地域共生社会を意識しながら支援し、地域課題等にも積極的に関わることで、地域のサービスの充足を図ります。利用者の抱えるニーズに合わせた支援を行っていきます。</p>	<p>包括支援センター等から依頼された困難ケース等の事例にも積極的に受け入れを行います。</p> <p>「運営基準減算」や「特定事業所集中減算」等の適用を受けないよう適正な事業運営を継続します。</p> <p>利用者のニーズに合わせたサービス利用を柔軟に対応し安心して生活ができるよう支援します。</p> <p>「地域ケア会議」「各包括支援センター主催の研修や勉強会」へ参加します。ZoomやYouTube等のリモート研修にも積極的に参加します。</p>

## 【高齢者相談支援センター】

事業計画	主な事業内容
地域に密着した事業展開を行うために、地域福祉関係者等との交流を継続します。	民生委員や在宅支援員との連携強化することで、地域の実態を把握します。
	民生委員や在宅支援員等を対象とした、相互の理解を深めます。
地域住民や民生委員・在宅福祉員と共に地域の活性化を図ります。	担当地域において福祉サービスを必要としている方に対して、相談や援助を迅速に行います。

## 【居宅介護支援事業所 ひだまり】

事業計画	主な事業内容
<p>事業所として市町村・包括支援センター及び医療機関との関係性を築き、積極的に新規利用者の受入れを行います。また、市町村からの委託業務等を受託します。</p>	<p>困難ケースや緊急ケースの受け入れを積極的に行い、各個人がその人らしい生活が送れるように支援します。</p>
	<p>年間を通して月30件以上の支援者数を維持します。</p>
	<p>介護保険委託業務の認定調査を受託します。</p>
	<p>『介護予防・日常生活支援総合事業』の委託を積極的に行います。</p>
<p>介護支援専門員として専門的な知識を深め、ケースワークの技術を高めます。</p>	<p>市町村及び各包括支援センター、医療機関や介護保険事業所との情報交換を行い更なる連携強化を図ります。</p>
	<p>地域サービスや新規事業所、インフォーマルサービスの把握を行うことで、ケースワークの質を高めます。</p>
	<p>介護支援専門員更新研修、県・市町村・各事業所の主催する研修へ積極的に参加し、専門的知識の向上に努めます。</p>
<p>包括的ケアシステムや地域共生社会といったことを意識し、地域特性に合わせた支援を行います。利用者の抱えるニーズに合わせた支援を行っていきます。</p>	<p>月1回以上法人内における居宅介護支援事業所と合同の会議を行い、情報を共有していきます。</p>
	<p>包括支援センター等から依頼された困難ケース等も積極的に受け入れを行います。</p>
	<p>「運営基準減算」や「特定事業所集中減算」等の適用を受けないよう適正な事業運営を継続します。</p>
	<p>利用者のニーズに合わせたサービス利用を柔軟に対応し安心して生活ができるよう支援します。</p>
<p>「地域ケア会議」「各包括支援センター主催の研修・勉強会」へ参加します。</p>	<p>「地域ケア会議」「各包括支援センター主催の研修・勉強会」へ参加します。</p>
<p>同一敷地所内の生活支援ハウスや通所介護等の状況の把握を行い、地域に密着した支援を展開していきます。</p>	<p>同一敷地所内の生活支援ハウスや通所介護等の状況の把握を行い、地域に密着した支援を展開していきます。</p>

## 【寺尾デイサービスセンター】

事業計画	主な事業内容
<p>多機能型福祉施設の特徴を活かしながら、様々なケースに柔軟に対応し、多様化する利用者、ご家族のニーズに応えられるよう充実した福祉サービスの提供を目指します。</p>	<p>他事業所と連携を図りながら、多機能型福祉施設のスケールメリットを活かし、視野を広げ、各事業所の特色を活かした交流を図ります。</p>
	<p>多様化する個別ニーズへの対応や、困難ケースの積極的な受け入れを行います。年度内に稼働率70%を目指します。</p>
	<p>施設見学や体験利用を積極的に受け入れ、様々な意見を集約しながら、ニーズの把握に努め、寄り添った支援を行います。</p>
<p>住み慣れた地域の中で、利用者一人ひとりがそれぞれ生きがいを持ち、自分らしい生活を過ごすことができるよう支援します。</p>	<p>住み慣れた自宅での生活が継続できるよう、家族、関係機関等と連携を図り支援します。</p>
	<p>利用者が持つ豊かな経験や知識を発揮できるような環境を整備します。</p>
	<p>地域資源の一つとして、様々な情報発信や多種多様な企画を計画し、利用者の意欲の向上を図ります。</p>
<p>全職員で現状課題を把握、共有しながら、健全な事業所運営を図ります。</p>	<p>事業所の稼働状況を把握し、無理、無駄、ムラの無い運営を目指します。</p>
	<p>職員一人ひとりに至るまで共通の意識と目標が浸透した職場づくりに努めます。</p>
	<p>毎月のミーティングや毎日の申し送りで、利用者の情報を共有し、利用者一人ひとりに寄り添った支援を行います。</p>
	<p>事業所間相互の協力体制を確立し、各事業所と連携を図り業務の効率化に努めます。</p>
	<p>年間計画に基づき、職員対象の研修を行うことで、職員各々の立場にたった知識の習得や、やりがいの高揚につなげ、質の高い福祉サービスの提供を目指します。</p>
<p>制度の動向・方向性を的確に把握し、職員が分かりやすく周知できるよう努めます。</p>	

## 【ふあいん・ユ一】

事業計画	主な事業内容
<p>事業団のスケールメリットを活かし、安定した支援提供に繋がります。また、利用者支援の質の向上と地域他事業所との差異化を図り、地域で選ばれる事業所を目指します。</p>	<p>様々な障害の方を幅広く受け入れ、利用者一人ひとりの心身状況や行動特性などを考慮し、個々の力に合わせた支援を心がけ、利用者の主体性を尊重します。</p>
	<p>地域他事業所との差異化を図るために、利用しやすい環境を整備するとともに、心身状況や行動特性に合わせたグループ活動を含んだ新たなプログラム開発を目指します。</p>
	<p>年間1日平均利用者数8.5人を目標に掲げ、令和3年度障害福祉サービス等報酬改定を理解し、安定した事業運営に努めます。</p>
	<p>新型コロナウイルスの感染対策を徹底しながら、感染症への対応力を強化し、サービスを継続的に提供していく体制を確保するよう努めます。</p>
	<p>広報誌の発行、フェイスブックの活用により広く活動内容を情報発信します。</p>
<p>人材育成を通し、支援体制のレベルアップを図ります。また、業務負担の偏りを精査し、平準化を図ります。</p>	<p>年間計画に基づき外部研修への参加、職場内研修を実施し、職員の資質向上と意識・ケアの統一を図ります。</p>
	<p>資格取得に向けた支援体制、OJT・OFF-JT、自己啓発等の行いやすい体制を構築します。</p>
	<p>現在の業務における課題を考え、各事業所と連携を図り、業務が円滑に進むよう改善やマニュアルの整備等に努めます。</p>
<p>日常生活が困難な障がい者の需要に適切に応え、喜んで利用していただける事業所、選ばれる事業所となり、地域に貢献し、地域のセーフティーネットとしての役割を果たします。</p>	<p>地域の行事等に参加し、恵まれた自然環境の中で人間的なふれあいを重視し、開かれた事業運営を目指します。</p>
	<p>体験学習及び実習生、ボランティア団体・個人を問わず受け入れて、ノーマライゼーションの浸透と共生社会の実現を促進します。</p>
	<p>大学生や短大生及び専門学校生の教育実習等を積極的に受入れ、進路等の選択肢の一つになるように支援や相談を通し、地域資源の一つとして認識が深められるよう、地域に開放された事業所を目指します。</p>

## 【にじいろテラス ゆくる】

事業計画	主な事業内容
市町村、関係機関と連携を図り質の高いサービスを提供します。	成長に合わせた支援が提供できるよう、ご家族や特別支援学校、秩父市障がい者福祉課等と関係機関との連携に努めます。
	開かれた事業所として信頼を得られるよう地域との結びつきを重視し、特別支援学校をはじめとした関係機関と情報の共有を図りながら障害者福祉の向上に努めます。
	非常災害訓練、安全点検、防犯訓練を定期的実施し、安心して過ごせる場を提供します。
発達障害に対する専門性を持ち、家族や児童の立場に立った支援を提供します。	個々の児童の希望を叶えるとともに、ご家族の願いを個別支援計画に反映できるよう適切かつ効果的な支援を提供します。
	様々な年代の児童が通うという強みを生かし、集団の中でしか学べない、体験、経験を重視した支援をおこないます。
	多様なニーズにこたえられるよう障害特性についての研修を適宜おこない職員の資質向上を図ります。
	多機能型施設のスケールメリットを生かし、事業所の垣根を越えた世代間交流を図ります。
	児童一人一人のストレングスに着目して、個々の成長に見合った取り組みを実践します。また、放課後や長期休暇中の安心できる居場所として、楽しみながら通所できる施設を目指します。
	家族の要望や相談に対応するため、専門知識の向上に努めます。また、日ごろの状況の報告、連絡、相談を大切に、ご家族との信頼関係を築きます。
	ご家族の意向を踏まえ、活動の様子を見ていただく機会を作ります。また、ニーズに応じた営業日拡大の検討をおこないます。
	児童の個性や興味に合わせた活動グループを作り、個々の成長を促す取り組みをおこないます。
	活動内容を広報誌やホームページ等で広く発信します。
	大事故へと至らないよう、ヒヤリハットの事例検討を適宜行い事故防止に努めます。
個人情報的重要性を職員ひとりひとりが認識し、利用および提供に関して適切な取り扱いをします。	
施設の課題を共有し、職員全体での施設運営を目指します	安定した施設運営が図れるよう、障害福祉サービス等報酬改定を把握し、適正に事業に反映できるよう努めます。
	定期的に稼働状況を分析し、平均利用率85%を目標に掲げます。
	新型コロナウイルス対応のため、手洗い、うがい、マスクの着用をはじめ定期的な換気、消毒を徹底し感染症対策をおこないます。
	コスト削減に努め、適切な施設運営をおこないます。
	定期的な職員会議を開催し、課題の共有、解決策を検討します。

## 【星の子教室】

事業計画	主な事業内容
<p>地域ニーズに応じて、児童発達支援事業の発展に努めます。</p>	<p>児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準の一部改正の要点を理解し、適正な人員を配置しながらケアニーズの高い児童への支援に努めます。</p>
	<p>マスクの着用、換気、定期的な消毒などの感染症対策を講じ、感染予防等に関する取組を徹底し、サービスが継続的に提供できる体制を構築します。</p>
	<p>営業日の拡大に向け、利用ニーズを調査しながら土曜日の営業を検討します。</p>
<p>子どもたちの健やかな発達を支援します。</p>	<p>各保健センター、相談支援事業所と連携を図り、積極的な児童の受け入れを行うことで、利用率85%以上を目指します。</p>
	<p>アセスメントに基づき、個々の成長や発達に応じた支援を行います。</p>
	<p>活動プログラムが固定化されないよう、施設設備を最大限活用するとともに、研修会等に参加し最新の情報を収集します。</p>
	<p>専門職による発達の見立てや発達検査の結果を通じて、保護者への適切なアドバイスを行います。</p>
<p>家族や児童の立場に立った支援を行います。</p>	<p>保護者同時通園の強みを活かして、保護者に対してペアレントトレーニングなど家族支援プログラムを実施します。</p>
	<p>保護者会等を開催し、定期的に保護者同士の情報交換ができるよう保護者間の連携を支援します。</p>
	<p>定期的に保護者と面談し、育児に関する不安や悩みを聞きとり、必要に応じて助言等を行います。</p>
<p>関係機関との連携、情報共有を行います。</p>	<p>保育所、認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図ります。</p>
	<p>就学に向けて、小学校や特別支援学校、教育委員会と情報を共有し、就学先について保護者の相談に応じます。</p>

## 【障がい者相談支援センター にじいろ】

事業計画	主な事業内容
関係機関との連携を強化し、積極的に利用者の受入れを行います。	県、市町村、医療機関、教育機関、関係事業所等へ積極的に足を運び、意見交換や状況確認を行うことで連携を強化します。
	関係機関からの相談に対して、迅速・柔軟な対応をすることで総支援者数150名以上を目指します。
	相談実績を積むことでネットワークをさらに強化するとともに、各種ケースの相談に積極的に協力し、相談支援事業所としての機能を最大限発揮します。
	障がい福祉サービス等報酬改定を熟知し、的確、迅速に支援に反映できるよう努め、質の高い相談支援提供を目指します。
相談援助技術の質を高め、自立支援に向けた支援に努めます。	ライフステージに応じた切れ目のない支援と個人のストレングスを活かしたサービス等利用計画の作成を行います。
	本人の持てる力を最大限発揮し、生き生きと生活できるよう、意見を尊重し、自己決定ができる支援を行います。
	本人が望む生活を実現するために、サービス担当者全体が同じ方向を向いて支援できるよう、定期的に会議の場を設定します。
	モニタリングを重視し、状態の変化にすぐに対応、前向きな方向性を示せるよう支援します。
	利用者ニーズを総合的に捉え、日常生活及び社会生活を支えることができる、新たなサービス利用を提案できるよう努めます。
	県、市町村、自立支援協議会等が開催する研修会、勉強会に積極的に参加し、専門性の向上に努めます。
障がい者へのサポートを強化し、地域でできる取り組みを考え、実行します。	地域の社会資源の一つとして認知してもらうとともに、その専門性を地域に貢献できるよう、定期的に障がいに関する相談会等を行います。
	関係機関、地域、利用者、家族等との連携を密にし、話しやすい環境作りを行い、にじいろテラスが、地域の良き相談相手となれるよう努めます。
	地域の課題について自立支援協議会等へ提言し、地域全体の障害福祉サービスの底上げを図ります。
	新型コロナウイルス感染防止に向けた取り組みを遵守し、安心してサービスを受けられるよう感染拡大の防止に努めます。
	地域等で障がいに関する研修会、説明会等を実施し、障がいの理解を広めます。